



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

特集・道本部第53回定期大会

「結成50周年」さらに団結

道本部は9月27日、28日の両日、ホールスター札幌で自治労北海道本部第53回定期大会を開き、一年間の運動方針と当面の闘争方針、衆・参議院選挙闘争勝利、「脱原発」を確実なものにするための決議を採択し、結成50周年を機にさらなる団結を固めた。2日間で全道から586人(うち女性61人、41%)が参加した。

安心・安全・信頼の社会に

50年前の10月25日、自治労道本部が第1回臨時大会を開いてから約半世紀を迎えた。50周年の記念すべき本大会では、新たに「室蘭市給食センターMMP労働組合」(写真)が加盟し、これを機に5万6千人組合員の団結を固め、自治労運動の前進と安心・安全・信頼の社会実現に向け、総力をあげてたたかうことを決議した。

新規加盟

室蘭市給食センター MMP労働組合

本大会で、今年4月に結成した、室蘭市給食センター MMP労働組合(組合員17人)の加盟が承認された。

内海たか子委員長のあいさつ

給食センターの民間委託が提案され、反対闘争をしてきたが、残念ながら民間委託となった。しかし、組合に結集してたたかった結果、雇用の確保、今後3年間の現状維持の確約をとれた。委託後、確約が守られるかの不安をもち、すぐに組合を結成し自治労加盟を決めた。今後、みなさんとともに頑張っていく。



2日間で参加者から28本の発言があった。この討論を通じて、当面する2012賃金確定闘争、現業・公企統一闘争、自律的労使関係制度の確立、脱原発などの取り組み。さらに、第46回衆議院選挙闘争と第23回参議院選挙闘争に全力で取り組む。特に、通常国会で継続

足早に秋がやってきた。初冠雪の便りも聞こえて、いよいよ寒い冬か。寒くなるとなぜか灯油代が高くなり財布の中は寒くなる。節電とともに灯油も節約。いずれにしても限りある資源、暑い時も方マンできた。大事に大切に使う。

朝風

10・13さようなら原発北海道集會に1万2千人(詳細はHPと次号で)。北電は敵ではないは、上田市長の言葉。そなた敵じゃない。道民の安全と安心のための発電もやっている。だけど原発だけはやめてほしいのが道民の願いだ。

本大会で自治労に加盟した室蘭市給食センターMMP労組・内海委員長(右)と山上委員長(左)が9月28日、ホールスター札幌

政治闘争で社会変革



執行委員長・山上 潔

道本部あいさつ
全道各地から結集された皆さんに感謝。今年の人勸は、月例給・一時金の改定を見送る一方、50歳台後半層職員の昇給抑制、昇格制度の見直しであり極めて不当。今後は閣議決定が焦点。勧告を実施させず、地方への悪影響を遮断

し、退職金削減のたたかいと運動して全力をあげよう。国公4法案は継続審議。地公制度改革は、地方3団体の反対を理由にできなかった。総務省の無責任な対応は極めて遺憾。引き続き中央段階のたたかいに結集する。政府のエネルギー・環境会議「新戦略」の「2030年代原発ゼロ」「原発は重要電源」は矛盾した戦略。福島第一原発事故の教訓を忘れず、引き続き、10・13さようなら原発北海道一万人集會「成功と、脱原発のたたかいを進めていきたい。」

全力で「あいほら」再選
民主党が政権交代を果たしてから3年、期待した国民の多くに失望や不信感はあるが、「生活者重視」の立場で、自民党政権時代にはあり得なかった政策転換を進めたことも大きな事実だ。これを止めることは、一部野党が掲げる自助・自立で格差を助長する新自由主義的な構造改革路線の政治に逆戻りさせることになる。私たちは政党と労働組合との違いを理解した上で、政府・与党に対してしっかりと主張し、同時に自らの大衆運動で政治を進める。民主党政権の現状に対する不満や不信感が、組合員・家族・退職者の皆さんの中に充満している。しかし、自公政権ではできなかったことも実現できたと評価すべき。不十分な民主党政権でも、引き続きしっかりと支え、政治闘争として社会の変革を実現する意外に道はない。一層のご協力を。

第46回衆議院選挙の推せんを決定

大会では、組織内の仲野博子、逢坂誠二を含む第46回衆議院選挙候補予定者7人を推せん決定した。これは、9月26日に開かれた第51回連合北海道地方委員会での決定に基づく第1次推せん。大会以降の推せん決定は、連合北海道の決定に基づき道本部執行委員会などの機関会議で決める。

選挙区	なまえ	期数	備考
北海道2区	三井 辨雄	現・4期	
北海道3区	荒井 聰	現・5期	
北海道4区	鉢呂 吉雄	現・7期	
北海道5区	中前 茂之	新人	
北海道6区	佐々木隆博	現・2期	
北海道7区	仲野 博子	現・3期	組織内
北海道8区	逢坂 誠二	現・2期	組織内

JICHIRO スケジュール

10月	19日(金) 第34年次地方自治研究全国集會(～21日、神戸市) 自治体退職者会北海道本部第29回定期総会(札幌市) 現業公企統一闘争総決起集會(札幌市)
20日(土)	自治労共済道支部第1回事務担当会議(札幌市)
22日(月)	道本部第3回執行委員会
23日(火)	連合北海道原子力防災訓練調査活動(岩内町)
25日(木)	連合北海道第25回年次大会
28日(日)	臨時・非常勤等職員の均等待遇と雇用安定を求める決起集會(東京)
11月	3日(土) やめるべ、大間原発11.3北海道集會(函館市)

道本部ホームページ
自治労北海道 ユーザー名:hokkaido
組合員専用ページは パスワード:jichi2009

賃金確定闘争スケジュール

- ◆要求書の全単組一斉提出
10月25日(木)回答指定日=11月2日(金)
- ◆重点交渉期間
11月5日(月)～11月20日(火)
- ◆戦術配置
① 組合旗掲揚=要求書提出10月25日(木)～闘争終結まで
② 腕章着用=11月16日(金)～闘争集結まで
③ 超勤拒否=11月20日(火)～11月21日(水)
④ 出張・諸会議拒否=11月21日(水)
- ◆道本部統一行動日(現業・公企統一闘争も同日)
11月21日(水)1時間ストライキ

本号の紙面

- 1～3面
・第53回定期大会特集
- 4～5面
・写真・機関紙コンクール
・大会来賓あいさつと退任者
- 6面
・事前会議・評議会報告
- 7面
・建設国保ユニオン全面勝利
・えさき参議in北海道
・チャレンジ!チルドレンファースト⑥
- 8面
・2013年度道本部執行体制

やめるべ、大間原発! 11.3北海道集會

- ◆11月3日(土) 13:00～
- ◆函館市千代台公園(千代台町22-24)
- 大間原発建設工事再開は許さない!

要求・交渉・妥結のサイクル確立

経過にかかわる質疑



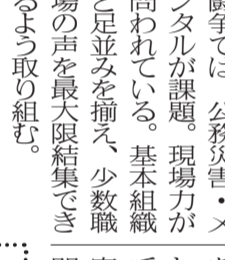
榎田代議員 (渡島地本)

本部大会の成功に向け、現地実行委員会は、函館市職労を中心に、旭川市本協の協力も得て取り組んだ。道本部や道内各単組の協力・支援に感謝。あ



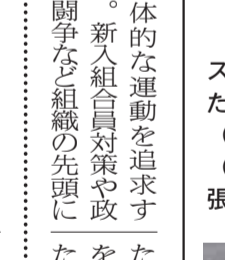
増田代議員 (石狩地方・札幌市職労)

臨時・非常勤等職員連絡会議、パート労働法の適用を



鈴木代議員 (石狩地方・札幌市職連)

新しい子ども・子育て支援関連法案が重大な課題に対応する専門部会



小原代議員 (全道庁労連本部)

女性交流集会の開催やオルクの実施など主体的な取り組みの必要性の浸透がはかれた。男女とも計画が、すべての地



藤盛副委員長

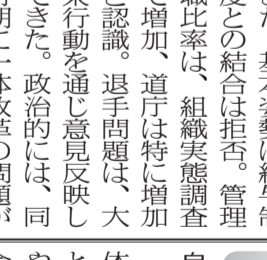
公契約条例成立にむけ、首長・議会対策、世論つくりを行う。臨時職員の雇用・労働条件安定

方針に関する答弁



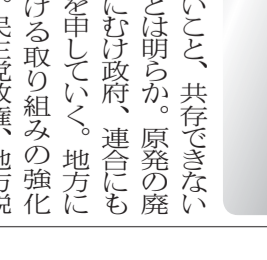
藤盛副委員長

公契約条例成立にむけ、首長・議会対策、世論つくりを行う。臨時職員の雇用・労働条件安定



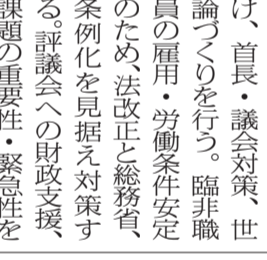
藤盛副委員長

公契約条例成立にむけ、首長・議会対策、世論つくりを行う。臨時職員の雇用・労働条件安定



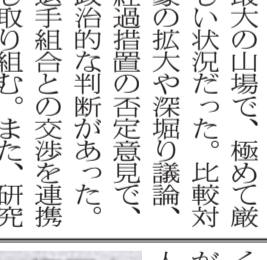
藤盛副委員長

経路に関する答弁



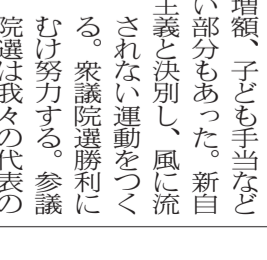
大出書記長

集会を通じた地本・単組の組織強化や団結を強めることは重要。建設国



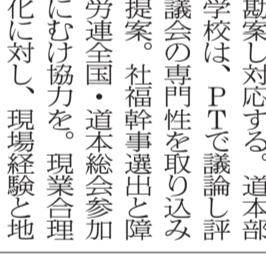
大出書記長

集会を通じた地本・単組の組織強化や団結を強めることは重要。建設国



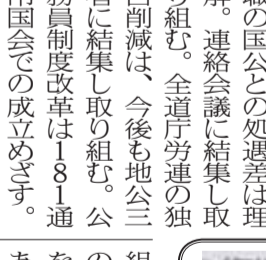
大出書記長

各評議会報告



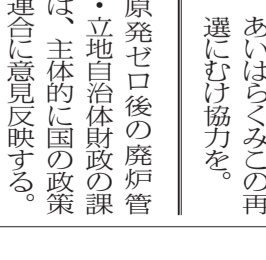
日高代議員 (室蘭事業協会ユニオン)

給食センターMMP労組が承認。現在71単組、約1600人の公共民間組



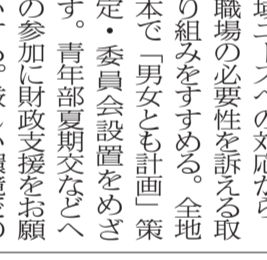
日高代議員 (室蘭事業協会ユニオン)

給食センターMMP労組が承認。現在71単組、約1600人の公共民間組



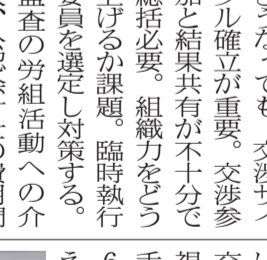
日高代議員 (室蘭事業協会ユニオン)

中央情勢報告



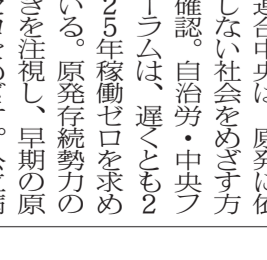
杉谷副委員長

自治労本部・荒金副委員長退職金の削減は各自治



杉谷副委員長

自治労本部・荒金副委員長退職金の削減は各自治



杉谷副委員長

政治フォーラム報告



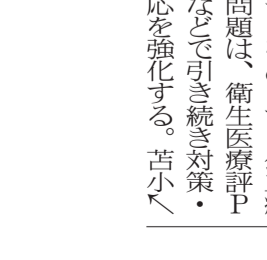
道議団部会・北口代表

高騰を理由に再稼働を求め、強い怒りを覚える。道新エネ条例は原



道議団部会・北口代表

高騰を理由に再稼働を求め、強い怒りを覚える。道新エネ条例は原



道議団部会・北口代表

方針への発言



原発代議員 (後志地本・共和町職)

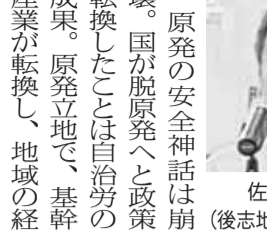
原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労



原発代議員 (後志地本・共和町職)

原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労

方針への発言



原発代議員 (後志地本・共和町職)

原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労



原発代議員 (後志地本・共和町職)

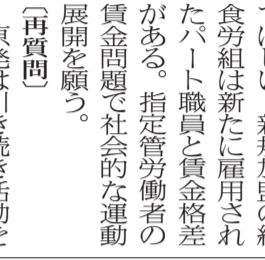
原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労

方針への発言



原発代議員 (後志地本・共和町職)

原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労



原発代議員 (後志地本・共和町職)

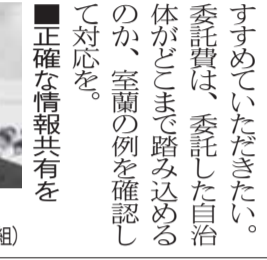
原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労

方針への発言



原発代議員 (後志地本・共和町職)

原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労



原発代議員 (後志地本・共和町職)

原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労

逢坂誠二衆議院議員国会報告



逢坂誠二議員 (民主党)

民主党政権にメディアは批判を... 民主党政権は、費用を増やせず、自民党と違



逢坂誠二議員 (民主党)

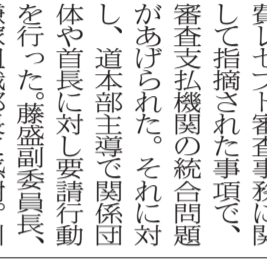
民主党政権にメディアは批判を... 民主党政権は、費用を増やせず、自民党と違

方針への発言



原発代議員 (後志地本・共和町職)

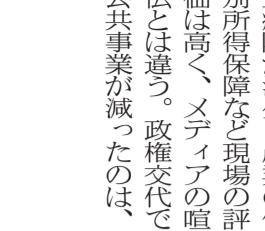
原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労



原発代議員 (後志地本・共和町職)

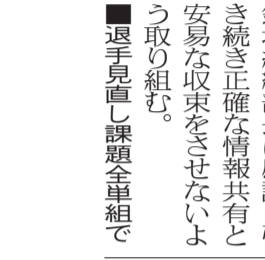
原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労

方針への発言



原発代議員 (後志地本・共和町職)

原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労



原発代議員 (後志地本・共和町職)

原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労

ねばり強く脱原発

あいらくみ再選は負けれないたい。

自民党や大阪維新の会にわれわれの未来をまかせられない。民主党政権を支え、社会改革を実現させるしか道はない。衆参の選挙戦で連合推せん候補すべての必勝にむけて協力をお願いします。確定闘争、退手見直しのため、あいらくみ再選は負けれないたい。

討論のまとめ 山上委員長

当選もつぎ取り組みの推進を。脱原発は、政府方針では2030年代までに原発ゼロ。少しでも前倒しさせるため取組む。立地自治体問題は、原発に頼らず町が生き延びるかを考えなければならぬ。脱原発のたたかいは、反対勢力の妨害や圧力をねのける中、長期にわたる強い取り組みが必要。

政治フォーラム報告

道議団部会・北口代表 高騰を理由に再稼働を求め、強い怒りを覚える。道新エネ条例は原

道新エネ条例は原存しない社会のために制定。エネルギーの地産地消を普及拡大と地域再生をはかることが重要。自然エネルギーが豊富な北海道で実現するために、地域で議論を。

中央情勢報告

自治労本部・荒金副委員長退職金の削減は各自治体の労使交渉で決めること。国をともも退職金や賞金の額が違っても含めて当局を追求していく。原発ゼロの閣議決定がされなかったが、核は人間がコントロールできる政治的否定的意見で、経過措置の否定意見で、経済的再判断があった。

自治労本部・荒金副委員長退職金の削減は各自治体の労使交渉で決めること。国をともも退職金や賞金の額が違っても含めて当局を追求していく。原発ゼロの閣議決定がされなかったが、核は人間がコントロールできる政治的否定的意見で、経過措置の否定意見で、経済的再判断があった。

方針に関する答弁

公契約条例成立にむけ、首長・議会対策、世論つくりを行う。臨時職員の雇用・労働条件安定

経路に関する答弁

集会を通じた地本・単組の組織強化や団結を強めることは重要。建設国の取組を強化する。建設国

各評議会報告

給食センターMMP労組が承認。現在71単組、約1600人の公共民間組

方針への発言

原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労

方針への発言

原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労

方針への発言

原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労

方針への発言

原発の安全神話は崩壊。国が脱原発へと政策転換したことは自治労



一般の部
最優秀賞
(1点)

「全道庁さっぽろ」
全道庁労連札幌総支部



「暁雲」
全道庁労連札幌医科大学労組



「市職労三」
砂川市職労



「全道庁あばしり」
全道庁労連網走総支部



「ニュース」
岩見沢市職



「檜山総支部」
全道庁労連檜山総支部



賞品は、10月中旬に各単組にお送りします。

2012 第45回 機関紙写真コンクール 審査発表



トリミングがどれも絶妙!
9月19日、第45回写真コンクールの審査を行った。今年の写真コンクールには、前回の15作品を上回る27作品が集まり、審査員には写真家の丸山義正さんを迎え、27作品すべてに目を通し講評をいただいた。丸山さんは「どれもトリミングが絶妙で良い写真が多い。賞で差をつけるのがもったいないくらい良い写真が集まった」と話した。



「しゃぼんだまのひととき」
全道庁労連札幌山越支部
小川 雄大さん

「講評」トリミングがジャストサイズが良い。シャボン玉ではなく人物にピントがしっかりあっていて、安定感がある写真。



「いっしょに散歩いっしょ!」
余市町職
松尾 智幸さん

「講評」背景のバランスが良い。お子さんの表情と、お子さんが持っているカバンの絵がマッチしているところも良い。



「優秀賞(4点)」

「旅の途中」

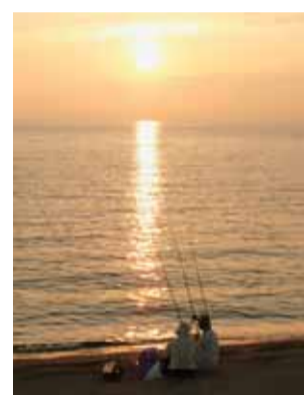
全道庁労連上川総支部
宗万 直人さん

「エピソード」
■自転車に大型バックを積んで、長旅でしょうか。水分補給して、ぼっと一息しているところを写させてもらいました。
「講評」
■背景全体がとても良い。色あいがとても良い。最優秀作品並みのでき。最後まで迷った作品。カタクリの花がとてもきれいです。



「おとうさんと水遊びにきて」
全道庁労連札幌総支部 井上 憲明さん

「講評」3人の子どもがちょうど良い間隔で写っておりバランスが良い。瞬間的な足の動きをよくとらえている写真。



「語らい」
全道庁労連札幌総支部
山根 辰弘さん

「講評」夕焼けと、釣りざお、人物の位置が良い。全景・中景・遠景がピタリはまっている写真。



「いいものみ一つけた」
上川町職労 高野 尚さん

「講評」子どもの自然な感じが良い。何かを見つめている表情が愛らしい。



「自由なぼく」
札幌市職連
皆上 透さん

「講評」ありさまがとても良い。全身が入るようトリミングされているのも良い。



「森のひょうきんもの」
苫小牧病職
浮津 陽一さん

「講評」なかなか撮れない写真。自然の中での貴重な瞬間をよくとらえている。かなりの撮影技術。



「夜のレッサーパンダ」
江別市職労
坂口 文吾さん

「講評」お子さんとレッサーパンダが見つめ合っている雰囲気が良い。



「お昼寝」
函館市職労
大澤 智さん

「講評」お孫さんと、猫が気持ちよさそうに寝ている姿が印象的。自然に生まれた瞬間をとらえている良い写真。



「私がかわりにお仕事します」
社保労連
浜村 智絵さん

「講評」お子さんの表情が愛らしい。自然な表情もすぐ良い。



「子馬は『とねっこ』っていうのですネ!」
全道庁労連日高総支部
津幡 美子さん

「講評」子馬がこちらを見ている瞬間をよくとらえた写真。トリミングも素晴らしい。



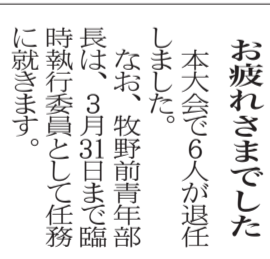
「阿寒湖」
岩見沢市職
重光 亜紀さん

「講評」人物の自然な動きをよくとらえている。特に足の動きが良い。

佳作 (1点)



「にわたずみ」
全道庁労連
十勝総支部



退任役員



お疲れさまでした
本大会で6人が退任しました。
なお、牧野前青年部長は、3月31日まで臨時執行委員として任務に就きます。

来賓あいさつ

政権交代から3年。民主党に対し国民からさまざまな批判をいただいている。一部は事実であり、一部は誤りもある。しかし、

か課題。相手の言い分を理解した上でなければ戦いになる。戦後日本政府はどうしてきたかを理解し、現在生き抜く必要がある。職場の問題は、敵いと思うが、職場からたたかいていくべきではない。

なるって取り組みを進めるので協力をお願いします。長崎の平和集会に参加し、平和核兵器の廃絶にむけて思いを強くした。若い世代に平和運動を継承するため、現地への派遣を支援していきたい。引き続き、あいら再選にむけて頑張っていく。

参議の実現なくして、自治労の存続はあり得ないと危機感を持っていた。フランスに変わってもおかしな政治状況にある。政治への無関心は、自治労の政策実現のための真摯な議論を期待する。

行き不透明な状況だが、組織拡大にむけて取り組む。木古内消防協に続き、今年度は消防防協が設立された。地域の皆さまに感謝する。自治労の旗の下で、活動できるように取り組む。

約減の解消を、はかっていることとしている。自治労はその中でも、重点産別として、加入拡大促進をはかることを意思統一している。日頃の協力に重ねてご理解をお願いしたい。

の理念はヨーロッパ型の福祉社会で、マニフェストはその実現に向けたもの。皆さんに不安や不信を与えたが信頼を得るよう行動したい。両院の選挙が行われるが、変わらぬ支援をお願いしたい。

政府が、原発再稼働した問題や、原発政策を閣議決定しなかったことは、到底容認できない。10.13

さらうなら原発北海道1万人集会の圧倒的な成功にむけて取り組み強化をお願いします。オスプレイ配備は、国策に翻弄され、命がけがらにされているのは原発も同様。反基地・反原発のたたかいを一体として進めていく。

の課題として全力で取り組む。最低賃金は、生活保護費との30円の乖離解消はできなかったが、引き続き取り組む。政治の原点が、歩み止めず民主主義を支え、むき合っていく。組織全体

2013道本部大会 事前会議・各評議会報告

現業公企評議会

現場力でアクシヨンプラン推進



現場力を高め、質の高い公共サービスを提供するため、職場から積み上げてきた現業活性化の経験を活かす。当面、住民サービスの拡充と質の向上をはかるため、人員と予算の確保をめざし、現業・公企統一闘争を単組・職場から全力で推進する。



〔役員体制〕
議長 浅野 康敏
(釧路市役所労組)
事務局長 大西 誠
(苫小牧市職労)

社会福祉評議会

安心の社会福祉制度実現



子どもから高齢者まで誰もが安心して生活できる社会福祉制度の実現と、それを支える福祉関係労働者の取り組みをすすめる。

〔役員体制〕
議長 塚越 寛
(浜頓別町職)
副議長 稲田 浩平
(全道庁釧路総支部)
阿部 直美
(北見市労連)
秋原 寧昭
(道社協職組)
相内 利幸
(札幌市職連)
事務局長 居橋 真人
(札幌病職労)

衛生医療評議会

就労看護職員200万人体制の確立



地域医療提供体制を維持するため、公立病院対策や就労看護職員200万人体制の確立に向けた取り組みの推進を確認した。また、保健医療政策の改善、保健医療分野での人材確保と、衛生医療職場の臨時非常勤職員の組織化にむけ積極的に取り組みをすすめる。

〔役員体制〕
議長 小林 一司
(苫小牧市病職)
副議長 佐藤 容子
(札幌病職労)
山川 達義
(全道庁労連 医療)
長谷部 修
(全道庁労連 保健)
選考中(町村職)
事務局長 居橋 真人
(札幌病職)
事務局次長 平野 弘輝
(木古内町職)

北海道消防職員協議会

団結権回復を見据え組織拡大・強化!



団結権回復を見据え、組織拡大と強化、賃金・労働条件改善、労働安全衛生の確立など、山積した課題解決に取組み、北海道から全国へ発信する。

〔役員体制〕
会長 鎌田 常孝
(芦別消防協)
副会長 田中 伸幸
(江差消防協)
菅原 宏仙
(釧路東部消防協)
事務局長 中畑 隆寛
(稚内消防協)
事務局次長 三上 高純
(室蘭市消防協)
中村 智幸
(江別市消防協)

女性部

男女平等社会の実現



職場や地域、社会における男女平等社会の実現と、女性の団結を強化し、誰もが安心して健康に働き続けられる職場づくりを進めている。第9次組織強化方針を決定。学習・交流を通して情報の共有、人材育成に取り組み。基本組織の機関会議などに積極的に参加し、意見を反映する。地本・単組・総支部運動の強化にむけた推進母体設置の取り組みを進める。

〔役員体制〕
部長 戸村のぞ美
(中標津町労連)
副部長 原 美夏
(洞爺湖町労連)
副部長 選出中
書記長 選出中
書記次長 香川真由美
(足寄町職労)

青年部

職場から運動つくる



「学習・交流・実践」を運動の柱に、仲間と声に「いねい」にむき合っていく。職場から運動をつくることを求む。大胆な実践と、いねいな総括から、さらなる組織強化につなげていく。

〔役員体制〕
部長 瀧口 和成
(日高町職)
副部長 渡邊 克昌
(富良野市労連)
書記長 加賀 正浩
(全道庁労連本部)

公共サービス民間労組協議会

公契約条例実現にむけて連携強化



公共サービス基本条例・公契約条例の制度や公正労働の実現のため、交渉・労働協約の締結をめざす。自治体単組とより一層連携をして取り組む。また、全車組要求書提出の体制を構築する。

〔役員体制〕
議長 鷲津 克之
(室蘭福祉事業協会職員労組)
副議長 北真 泰利
(北海道環境施設ユニオン)
逢見谷 百合子
(北海道福祉ユニオン)
田尾 悟
(旭川浄化労組)
高橋 直樹
(名寄市社会福祉事業団職員労組)
野原 隆行
(北海道指定自動車労働組協議会)
事務局次長 上戸 等
(南部檜山衛生処理組合職員労組)

臨時・非常勤等職員連絡会議

常勤職員との均等待遇を求めて



臨時・非常勤等職員の任期の定めのない短時間勤務職員制度の確立と処遇改善・雇用の確保、未組織の仲間と連携して取り組んでいく。

〔役員体制〕
議長 増田 光子
(札幌病職労)
副議長 松本 敦子
(札幌市職連)
佐藤るみ子
(札幌市労)
事務局次長 寒河江厚子
(全道庁労連札幌総支部)

建設国保ユニオン全面勝利!

「雇った以上、定年まで雇用する責任がある」

10月4日13時、札幌地裁712号法廷で、自治労本部に加盟する建設国保ユニオンの「地位確認等請求事件」判決が言い渡された。

判決は、松本真裁判長が、メンバー5人の「雇用契約上の権利を有する地位にあることを確認する」とし、解雇された2

010年12月から現在に至るまで(地位保全における賃金の仮払いは昨年5月から支払い済み)の賃金(一時金の一部を含む)の支払いを命じた。あわせて、本年7月1日から本判決が確定するまで、毎月の賃金を支払え」とした。

さらに、裁判所の判断は、川村俊紀弁護士の主張・立証を認め、本件各解雇は、これを社会通念上相当であると認めることができないから、無効である(解雇は無効)と明言した。

この解雇について使用者側は、事業所閉鎖にともなう整理解雇であるとしていたが、最初からユニオンのメンバーを排除することが目的なのは明白だった。裁判所も「原告らの雇用確保は、いわゆる蚊帳の外に置かれたものと評価せざるを得ない」として、



↑ 祝勝会でお礼の言葉を述べる今野さんと4人の組合員経過を報告する川村弁護士→



祝勝会に駆けつけた道本部4役=10月4日、自治労会館

組合員の皆さまへ

第53回定期大会では多くの皆さまに「団結ラーメン・団結ソーメン」ご購入の協力をいただき誠にありがとうございました。また、これまでのご支援に厚くお礼申し上げます。

私たちは、職場閉鎖を理由に2010年12月1日付けで整理解雇され「地位保全の仮処分申請」を経て、札幌地方裁判所に「地位確認等請求」の訴えを申し立てしてまいりました。

2012年10月4日に「各原告が被告に対して雇用契約上の権利を有することを確認する」との全面勝訴の一審判決を勝ち取ることができました。また、仮処分申請では認められなかった解雇時に遡る給与等も支払われることになりました。約2年間にわたる長く苦しいたたかいに勝利できたのは、ひとえに皆さまのご支援のおかげです。

同日、18時半から自治労会館3F中ホールで「裁判闘争祝勝会」が開かれ、本件代理人川村俊紀弁護士が判決内容を解説しました。「雇用確保の義務を怠り、解雇回避の努力をつくっていない使用者側の解雇は無効」という原告主張の大筋を裁判長が捉まえて判断してくれた、非常に価値のある判決」との見解でした。ご多忙の中、北海道本部山上執行委員長はじめ四役の皆さま、石狩地方本部吉田執行委員長、吉田女性部長、多くの皆さまに会場に足をお運びいただき激励のお言葉を頂戴し、感謝の気持ちでいっぱいです。また、道本部・松岡組織拡大専門員、石狩地本・村上書記長が判決言い渡しに駆けつけてくださり、ありがとうございました。

今後は使用者側の控訴が予想されますが、一日も早い職場復帰をめざし最後までたたかい抜く覚悟ですので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

建設国保ユニオン組合員一同

ヒロちゃんの国会だより



今年8月、霞が関の農林水産省の一角に、新しい売店「女性起業家プチマルシェ」が開店しました。これは、女性起業家を支援する目的で、農水省職員生活協同組合や農山漁村

「女性起業家プチマルシェ」が開店 今年8月、2ヵ月に1回の予定で開催されます。北海道の産品がプチマルシェで販売される日を楽しみに、また女性起業家の方の働きが、全国に紹介されるよう応援していきたいと思

えさき参議in北海道

自治労組合員であることは誇り



釧路管内地本の職場で=10月4日

10月1日から5日間、自治労組織内の「えさきたかし」参議院議員が来道し、網走、釧路地本管内単組・職場を訪問した。前日からの台風17号の影響で航空機が欠航し、1日遅れで道内入りした。

また、初日の最後には遠軽町労連で「今の国の情勢を学ぼう」と題して、学習会が開かれた。

えさき参議は、国会議員として活動する中で見てきた各地域の特徴や、関わってきた民主党議員の印象、また、私たち自治体労働者として「これから何をするか」を話した。さらに「自治労のネットワーク」は国会の中でも強い、皆さんは自治労組合員であることを誇りに、もっと強く主張してほしい」と、参加した約20人の組合員に、労働



網走管内地本の職場=10月1日

チャレンジ! チルドレン・ファースト

自治体の本気度問われる 地方版子ども・子育て会議

9月18日、内閣府・文科省・厚労省による子ども・子育て関連3法の地方自治体むけ説明会が開かれ、その中で、来年度に各自自治体において予算を確保する必要がある項目が3点あげられています。

「やっついで 収書。ちゃんと手に取ってきた!」何度か読んでもらえるようなこの達成感をあじわったことだろう。しかし紙面に心がけようとして、印刷さ話し合っている。◇ホームページは開設からほぼ8年。はじめはなかなか知られていなかったが、最近では訪問者が増加中。特に、函館大会特設ホームページ開設を機に他県の訪問者も増えている。今後の目標は道本部結成50周年を節目にリニューアル。新しい情報をなるべく迅速に、道本部全体で発信していく。ご要望は、教育情報部までお願いいたします! (谷川広美)

忙中余話

「やっついで 収書。ちゃんと手に取ってきた!」何度か読んでもらえるようなこの達成感をあじわったことだろう。しかし紙面に心がけようとして、印刷さ話し合っている。◇ホームページは開設からほぼ8年。はじめはなかなか知られていなかったが、最近では訪問者が増加中。特に、函館大会特設ホームページ開設を機に他県の訪問者も増えている。今後の目標は道本部結成50周年を節目にリニューアル。新しい情報をなるべく迅速に、道本部全体で発信していく。ご要望は、教育情報部までお願いいたします! (谷川広美)



コンサドーレ プレゼント

コンサドーレチケット2枚を2人にプレゼント。各試合共通(見たい試合を自分で選べます) SAゾーン自由席。締め切りは11月1日(木)午後4時、道本部ホームページ上部にある「道本部へのメール」で受付(単組名、名前、連絡先を明記)。落選した人には連絡しない。

さらなる組織強化・「あいほら」の再選めざして頑張ります！



2013年度道本部執行体制

4役(企画会議)

執行委員長
自治労共済道支部支部長



山上 潔
(全道庁労連)

副執行委員長
自治労共済道支部事務局長



三浦 正一
(斜里町労連)

副執行委員長
総合政策局長



杉谷 光一
(留萌市労連)

書記長
企画総務局長



大出 彰良
(名寄市職労)

副執行委員長
組織労働局長



藤盛 敏弘
(函館市職労)

財政局長



浦池 仁
(全道庁労連)

組織労働局

賃金労働部長



榑部 浩二
(全道庁労連)

臨時執行委員
(自律的労使関係対策)



和田 英浩
(砂川市職労)

組織部長



鎌塚 誠
(滝川市職労)

組織部長
(現業公企評事務局)



大西 誠
(苫小牧市職労)

組織部次長(書記)



大島 進

組織部次長(書記)



河井 勝

厚生対策部長
欠員

企画総務局

企画総務部長



山木 紀彦
(遠軽町労連)

臨時執行委員
2013年3月31日まで



牧野 長武
(名寄市職労)

教育情宣部長



谷川 広美
(直属支部)

研究者



木村美智留
(全道庁労連)

女性部長



戸村のぞ美
(中標津町労連)

企画総務部次長(書記)



引地 圭太
(教育情宣部)

青年部長



滝口 和成
(日高町職)

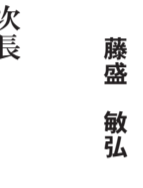
企画総務部次長(書記)



高山 智子
(女性部・青年部)

〈組織拡大推進室〉

室長



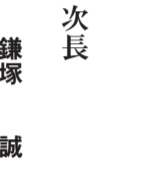
藤盛 敏弘
(組織拡大専門員)

事務局長



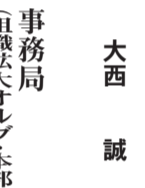
松岡 敏裕
(石狩市職労)

次長



鎌塚 誠

事務局長次長



大西 誠

〈退職者会〉

事務局長



藤田 惣一

事務局



吉田 雅人
(組織拡大オクルグ本部書記)

総合政策局

政治部長



柳田 基貴
(全道庁労連)

公共サービス政策部長
(衛生医療評社会福祉担当)



居橋 真人
(札幌病職労)

選出中

自治体政策部長
(道民運動担当)



柳田 基貴
(全道庁労連)

政治部次長(書記)



玉井 秀樹

〈総合研究室〉

室長



杉谷 光一

企画総務部次長(書記)



佐々木直人
(連合北海道派遣)

企画総務部次長(書記)



佐々木直人
(連合北海道派遣)

研究者(嘱託職員)



舟橋 圭子

事務局長



酒井 康弘
(全道庁労連)

自治労共済 北海道支部

管理部副部長(書記)



宮川 真希

事業部副部長(書記)



小杉由美子

事業部副部長(書記)



山道摩奈美

管理部副部長(書記)



鈴木 知幸

事業部副部長(書記)



長尾 祐司

損害調査部副部長(書記)



岡本 宜久

管理部(臨時書記)



長谷川幸子

損害調査部副部長(書記)



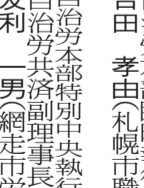
一色 剛彦

損害調査部副部長(書記)



加藤 修

損害調査部副部長(書記)



萩原 直

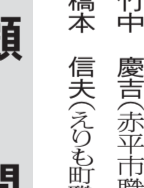
損害調査部副部長(書記)



加藤 修

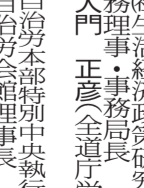
監査委員

自治体政策部次長(書記)



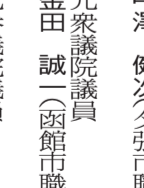
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



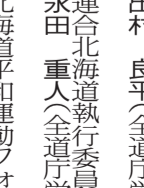
高田 将平
(道民運動担当)

公共サービス政策部次長(書記)



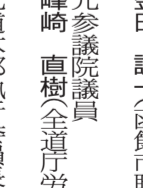
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



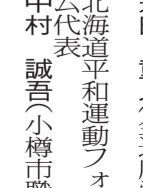
高田 将平
(道民運動担当)

公共サービス政策部次長(書記)



高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



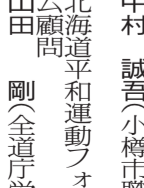
高田 将平
(道民運動担当)

衛生医療評社会福祉担当



高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



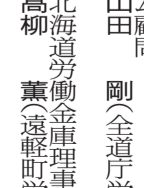
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



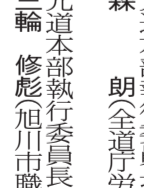
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



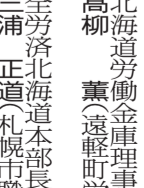
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



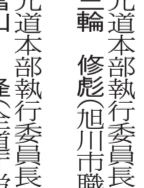
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



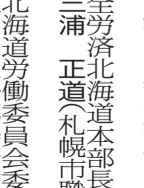
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



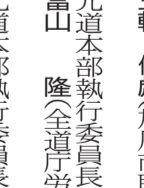
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



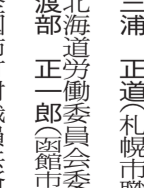
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



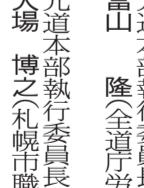
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



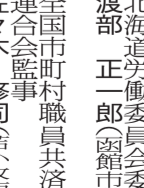
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



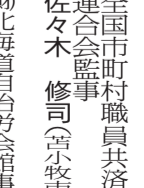
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



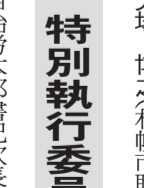
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



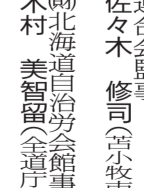
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



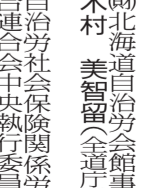
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



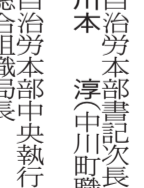
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



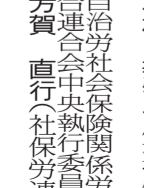
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



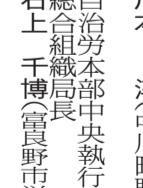
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



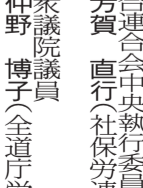
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



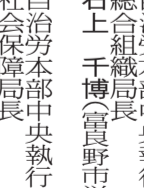
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



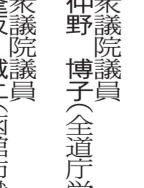
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



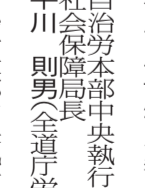
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



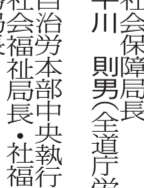
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



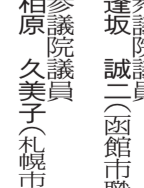
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



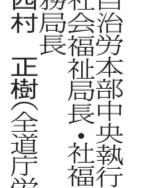
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



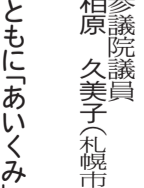
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



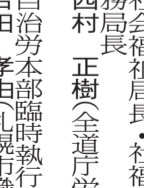
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



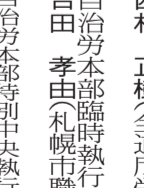
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



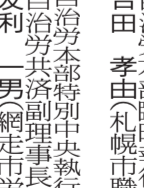
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



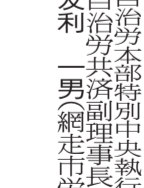
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



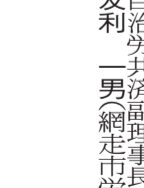
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



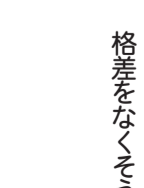
高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



高田 将平
(道民運動担当)

自治体政策部特別中央執行委員



高田 将平